

氏名(本籍)	西村 美智代(山口県)
学位の種類	修士(看護学)
学位記番号	修士第 62 号
学位授与年月日	平成17年3月25日
学位論文題目	10代で出産を選択した妊婦の生活

論 文 内 容 要 旨

※整理番号	64	(ふりがな) 氏 名	にしむらみちよ 西村美智代
修士論文題目	10代で出産を選択した妊婦の生活		
<p>研究の目的 10代で出産を選択した10代妊婦が妊婦としての生活をどのように受けとめているのかを明らかにする。</p> <p>研究方法 質的記述的研究で半構成的面接法を用いてデータを収集した。</p> <p>研究結果 7名の研究参加者が語ったデータを逐語録に起こし、KJ法を参考に分析した結果、613のラベルがでた。それを類似した意味内容でカテゴリー化したところ6の上位カテゴリーと20の中位カテゴリーと65の下位カテゴリーが抽出された。</p> <p>考察 10代妊婦の生活は、思春期の発達課題とその次の発達課題だけでなく妊婦の発達過程もたどっている。しかし、その過程は個人差があり、一人一人の発達課題の経過を良く把握した上で看護に当たることが必要である。また、思春期にある10代妊婦の特徴として、異性との関係を作り発達段階にある。そのため、20代、30代の妊婦と違って夫への反応は重要で、10代妊婦だけでなく夫への看護も必要である。また、10代妊婦が正常な妊娠経過をたどるためには、周囲のサポートが重要となる。なかでも、妊娠出産経験者が彼女たち関わることで、10代妊婦が母親になる過程を助けることが出来る。しかし、10代のみで繋がっていたいという彼女たちの思いも尊重した関わりが必要である。</p> <p>総括 10代で出産を選択した妊婦は、思春期とその次の発達課題を妊婦としての発達過程と共にたどりながら妊婦としての生活を送っていた。日本では、10代妊婦が自らの体験を語った研究が少なく今後もひきつづき研究を進める必要がある。</p>			

- (備考) 1. 研究の目的・方法・結果・考察・総括の順に記載すること。(1200字程度)
2. ※印の欄には記入しないこと。